

◆**翻訳サポート**

難民の方々が必要とする、難民申請などにかかる資料の翻訳を無償でお手伝いした。英語以外の言語は、大学の留学生に協力を得て行った。

[H24 年度実績]

英語→日本語	27 件
日本語→英語	3 件
タイ語→日本語	2 件
日本語→ペルシャ語	1 件

総計：33 件(A4300 枚程度)



写真：『世界のごはん会』



写真：『難民交流会 2012』

◆**啓発活動**

◇ICT ツールを用いた情報提供・問題啓発

公式ブログ：<http://cloveryouth.blog109.fc2.com/>

Twitter：@clover_youth

Facebook：<http://www.facebook.com/CLOVERyouth>

◇イベント等による問題啓発・交流の場の創出

◆**地方自治体等との連携**

この問題は非常に多くの課題と側面を抱えているために、大学内外の様々な方々のお力をお借りした。

日本語学習に関して、筑波大学の小野正樹先生(人文社会学研究科)に相談したり、『(特活)難民支援協会』様の事務所に相談に伺ったりした。また、入国管理センターの事情に関しては、同施設に明るい、「牛久入管収容所問題を考える会(通称：牛久の会)」様の話を伺った。

CLOVER

～**難民と共に歩むユース団体**～

概要

日本の難民問題、特にその根底に潜んでいる人権問題に、地域市民・学生が一体となって目を向けていくことによって、多文化共生社会の礎を築いていく。

具体的には東日本入国管理センターに収容されている難民・外国人の方々が収容中に大きなストレスを抱えているという現状を受けて、彼らとの面会活動を通して「心のケア」を行い、また、文書翻訳や日本語学習のニーズにも対応した。さらに、この問題を広く発信する活動も行った。

◆**日本語学習サポート**

外国からやってきた彼らが、日本での自立の一助として、日本語を勉強できる自主制作教材を差し入れた。

[H24 年度実績]

差し入れ回数	17 回
差し入れ人数	70 名

国籍：フィリピン、トルコ、バングラディッシュ、イラン、スリランカ etc...

(計 22 か国)

◆**被収容者の方々への面会訪問活動**

週に一度の面会訪問活動を行い、「心のケア」を目的とした、会話・傾聴を行いながら継続的な信頼関係の構築に努めた。

[H24 年度実績]

回数	52 回
累計面会参加延べ人数	194 名
面会した外国人の方々	122 名

◆**その他**

その他、収容されている方への辞書等への差し入れや、文通によるコミュニケーションをとるなどの活動も行った。

また、入国管理センターに収容されていた方々が同施設を出られた後の交流も行った。



写真：入国管理センターに収容されている方々のメッセージ